

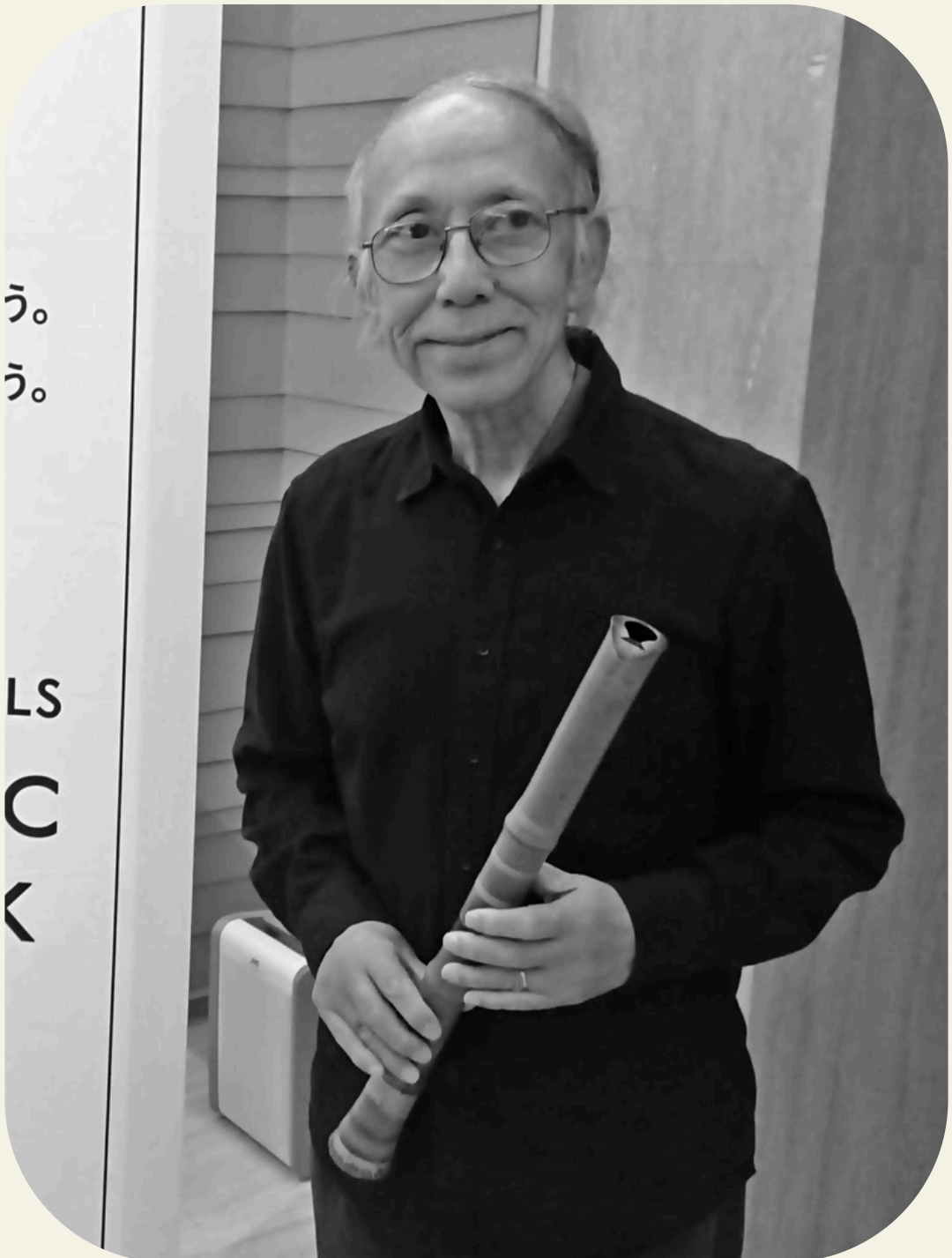
祈りの残照

尺八古典本曲演奏会

2025年2月3日（月）13:00-15:00

東京大学東洋文化研究所3階大会議室

演奏・レクチャー
山澤昭彦



現在一般的に尺八と呼ばれている楽器は普化尺八であり、虚無僧尺八ともいう。この尺八は、江戸時代には普化宗の法器とされ、虚無僧のみが吹奏するとされていた。しかし普化尺八に関する歴史的資料はほとんど存在しない。

虚無僧尺八の音楽は、伝統的な日本音楽としては異質な雰囲気を持っており、日本ではアカデミックで学際的な研究が不足している。

本レクチャーコンサートでは、尺八演奏家の山澤昭彦が演奏をまじえてわかりやすく解説し、尺八研究に新たな視点をもたらす。

尺八を学生時代に青木静夫（二代青木鈴慕）・横山勝也の各氏から学ぶ。

2010年からプログラム言語を使って音楽を生成する「Generative Music」のアルバムを多数制作。2015年からはコンピュータを使った映像作品と生成音楽を組み合わせた「実験音楽工房展」を東京・山形などで開催したほか、尺八古典本曲の演奏や多ジャンルのミュージシャンやダンサーとのコラボレーションなど、複合的なアート活動にも取り組んでいる。2020年から「佳興の会」をプロデュース。年4回の邦楽ライブを開催中。2022年には「酒井家庄内入部400年記念事業」の一環として七絃琴復興プロジェクトを企画推進。古琴（七絃琴）の新たな可能性を追究しながら現在も活動中。

主催 東京大学東アジア藝文書院

潮田総合学芸知イニシアティブ

参加登録はこちらから

「東アジア音楽の美」研究会・尺八ワーキンググループ



EAA
EAST ASIAN ACADEMY
FOR NEW LIBERAL ARTS

UIA
The Ushioda
Initiative of Arts